

Umbrellaログイン後のOpenDNSページへのリダイレクトのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Umbrellaにログインした後のOpenDNSページへのリダイレクトをトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

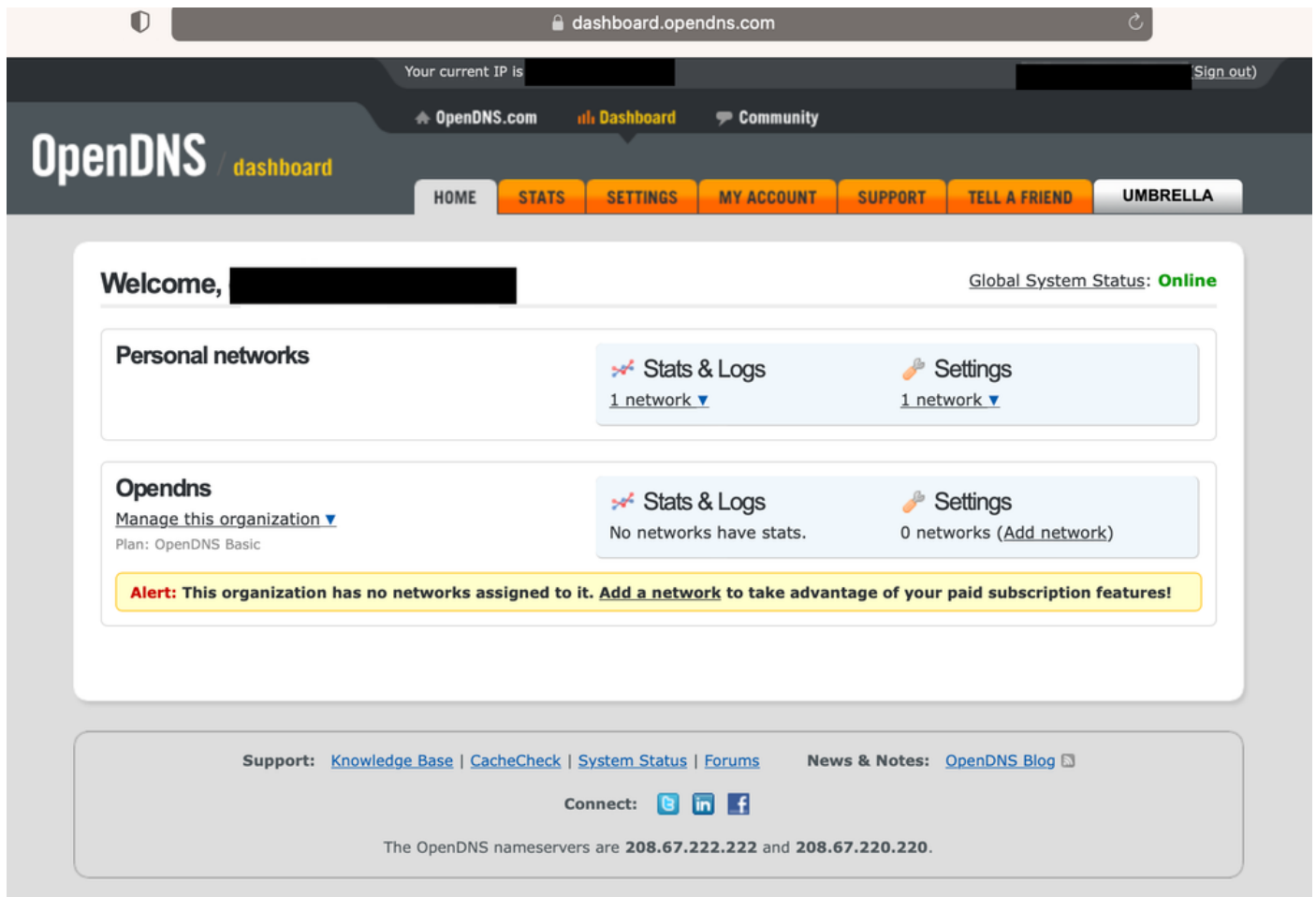
使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

Umbrella組織のライセンスサブスクリプションの有効期限が切れた場合、有効期限の副作用の1つが考えられます。Umbrella組織にログインすると、OpenDNSページにリダイレクトされます。



その他の副作用については、ナレッジベースの記事「What Happens when My Cisco Umbrella Subscription or Trial Expires?」（Cisco Umbrellaサブスクリプションまたはトライアルの有効期限が切れると、どうなりますか）を参照してください。

解決方法

Umbrella組織のライセンスサブスクリプションの有効期限が切れている場合は、シスコ更新スペシャリストまたはアカウントマネージャにお問い合わせください。それが誰かわからない場合は、Umbrellaサポートで新しいケースを開始してください。次の情報を入力してください。

- Umbrellaへのログインに使用するメールアドレス
- Umbrella組織ID（既知の場合）
- Umbrellaライセンスサブスクリプションの詳細（既知の場合）
- ライセンスを既に更新または購入している場合は、Web注文IDまたはサブIDを入力します。
また、エンタープライズアグリーメント(EA)ライセンスを購入した場合、このライセンスをアクティブにするには、EAポータルからプロビジョニング要求を送信する必要があることに注意してください。
 - EAポータルでCisco Umbrellaをプロビジョニングするには、次の手順を実行します。
 1. <https://software.cisco.com/#>経由でELAポータルにログインします。
 2. このページには「License」セクションがあり、Enterprise License Agreementにリ

ンクされています。

3. そこから、ポータルでCisco Umbrellaライセンスによるプロビジョニングの要求を選択します。

4. 赤いアスタリスク(*)が付いている領域を入力します。これには、お客様の名前、役職、電話番号、業務の種類が含まれます。

a.購入したライセンス数を追加します。

b. Umbrellaの現行のお客様、またはトライアルアカウントをお持ちの場合は、「注」セクションに、現在お客様であることを示すメモを追加し、ダッシュボードへのリンクを追加してください。

- これらの手順を完了すると、シスコのEAチームはライセンスをプロビジョニングできます。リクエストが送信されると、5 ~ 7営業日以内にアカウントが有効になります。
- EAライセンスのプロビジョニングで問題が発生した場合は、
<https://mycase.cloudapps.cisco.com/case?swl>でケースをオープンしてください。
Enterprise Agreement (EAWS) > Enterprise Agreement Workspace (EAWS)のカテゴリを選択し、Open Caseを選択します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。